



再認定現地審査で3つの取り組みを説明!

佐渡ジオパークの再認定に向けた現地審査が10月4日〜6日に行われ、3人の審査員が佐渡を訪れました。今回の再認定審査では、特に2年前に指摘された9つの課題について現地で確認が行われました。

9つの課題の一つに「ジオパーク」「世界農業遺産」「世界文化遺産への登録活動」の3つの取り組みに関する類似点と相違点の整理が挙げられています。課題に対する進捗状況を確認するため、世界農業遺産、

世界文化遺産への登録活動の担当者を交えた聞き取りが行われました。

聞き取りでは、3つの取り組みの類似点と相違点の整理をして、理解を深める話し合いを行ってきたことや、市民の皆さまに理解を深めていただくためのシンポジウムを開催したことなどを説明しました。

また、聞き取りのほかに、佐渡金銀山のガイダンス施設「きらりうむ佐渡」で、佐渡金銀山に関する展示の見学や、きらりうむ佐渡でのジオ



連携した取り組み状況を説明!



現地審査の感想を述べる審査員



きらりうむ佐渡での取り組み説明の様子

パーク講演会の様子の紹介、展示ポスターなどを見学していただき、連携した取り組みを行っていることをアピールしました。

審査員からは「関係者同士のコミュニケーションが持たれ、連携した動きが見られはじめています」といったコメントをいただきました。今回の現地審査の内容を踏まえて日本ジオパーク委員会での審査が行われます。審査結果は12月25日(水)に発表される予定です。審査結果の速報は、ジオパーク推進協議会ホームページでお知らせします。

⑨ 教育委員会社会教育課
ジオパーク推進室
☎ 27-2162



はじめまして。8月から地域おこし協力隊として着任しました竹林雅喜です。出身は、知多半島の北端に位置する愛知県大府市。半島にありながら海に面していないので、今の環境は毎日が新鮮で楽しいです。趣味はお遍路で、その時のご縁が佐渡にくるきっかけにもなっています。佐渡でもいろいろなご縁をつないで行けたら良いなと思っています。よろしくお祈りします。

⑨ 地域振興課 地域振興係 ☎ 63-4152

～地域の魅力をサポートします～
われら地域おこし協力隊

『いろいろなご縁をつないで行きたい』

黒姫・虫崎・北小浦・見立集落担当
竹林 雅喜